

第3回地域日本語教育シンポジウム「地域の日本語教室の役割」

【日 時】平成26年2月15日(土) 午後1時～午後4時

【会 場】群馬県立女子大学 新館第1講義室

【対象者】日本語ボランティア活動者、教育関係者、日本語教育に興味がある方(200名(先着順))

趣旨・目的

このシンポジウムでは、「地域の日本語教室の役割」について考えるものです。定住外国人に対する地域日本語教育に携わっている方々の講演や報告を通じて、参加者全体で、あらためて「日本語教室の役割」を見つめ直す契機としたいと思います。

講演者・報告者の紹介

米勢 治子 (よねせ はるこ)

東海日本語ネットワーク副代表、愛知県立大学非常勤講師、文化庁地域日本語教育コーディネーター研修講師。対話と協働による多文化共生の地域づくりをめざす地域日本語教育のあり方を発信している。

齋藤 智彦 (さいとう とむひこ)

玉村町役場経営企画課協働推進係係長。玉村町行政としての国際交流・在住外国人支援事務担当。玉村町国際交流協会事務局担当者として、玉村町のボランティア日本語教室にも関わっている。

桑原 宜徳 (くわばら よしのり)

NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会・理事長。伊勢崎市国際交流協会の委託を受け、日本語教室の運営に携わる。また、文化庁委嘱の日本語教育事業も行っている。群馬県立女子大学地域日本語教育センター運営委員。

遠藤 知佐 (えんどう ちさ)

早稲田大学日本語教育研究センター・常勤インストラクター。元前橋市国際交流協会事務局員。現在はボランティアとして地域の日本語教育支援に関わる。『かけはし ー生活・交流・学習のための素材ー』監修。博士(日本語教育学)。

スケジュール

開会挨拶	13:00～13:10	濱口 富士雄(群馬県立女子大学学長/地域日本語教育センターセンター長)
趣旨説明	13:10～13:20	伊藤 健人(群馬県立女子大学文学部国文学科准教授/地域日本語教育センター副センター長)
基調講演	13:20～14:00	米勢 治子(東海日本語ネットワーク副代表)「日本語教室の役割とは」
現状報告①	14:00～14:15	齋藤 智彦(玉村町役場経営企画課協働推進係係長)
現状報告②	14:15～14:30	桑原 宜徳(NPO法人伊勢崎日本語ボランティア協会理事長)
現状報告③	14:30～14:45	遠藤 知佐(早稲田大学日本語教育研究センター常勤インストラクター)
休憩	14:45～15:00	
ディスカッション	15:00～15:50	米勢 治子、齋藤 智彦、桑原 宜徳、遠藤 知佐、伊藤 健人 司会：ヤン・ジョンヨン(群馬県立女子大学地域日本語教育センター講師)
閉会	16:00	

アクセス

▶公共交通機関を利用する場合

- ・JR高崎線新町駅からバスで約10分(片道：280円)
- ・JR高崎線高崎駅からバスで約35分(片道：500円)

JR新町駅 発	女子大学前		JR新町駅 着
	着	発	
10:25	10:34	16:23	16:35
11:50	11:59	18:00	18:15

JR高崎駅 (西口1番)発	女子大学前		JR高崎駅 (西口1番)着
	着	発	
09:45	10:20	16:20	16:55
11:55	12:30		

▶自家用車を利用される場合

- ・大学内の無料の駐車場があります。

申し込み方法

2月12日(水)までに、電話、FAX、メールにて事前申し込みをお願いします。

件名を「地域日本語教育シンポジウム申し込み」とし、(1)氏名(ふりがな)、(2)住所、(3)メールアドレスまたは電話番号、(4)所属を明記してお申し込み下さい。

▶申し込み/問い合わせ先

群馬県立女子大学 地域日本語教育センター
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
E-mail: nihongo@mail.gpwu.ac.jp
電話: 0270-65-8511(代表)
FAX: 0270-65-9538